

# ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所  
士別市東7条9丁目  
Tel0165-22-3100  
fax0165-23-4356

## 謹賀新年



輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年暮れの第四回定例道議会での最大の課題は、カジノを含むIRの申請準備の判断でした。この中で鈴木知事は、「限られた期間の中で、環境への適切な配慮を行うことは不可能」と、来年7月までの申請が間に合



わないとして、誘致申請を断念しました。

一方で、「北海道にとってIRは、経済・社会に大きなインパクトを与え、持続的な発展に寄与するプロジェクト。きたるべき時に挑戦できるよう、所要の準備をしつかりと進めていく」と発言。今後の誘致の可能性を示唆したのです。

鈴木知事のどっちつかずの判断には、反対派ばかりでなく推進派からも「真意が理解できない」との声が上がっています。

### 幌延は延長認める

今議会でのもう一つの課

題であった、幌延深地層研究センターの研究期間の延長問題について鈴木知事は

「①放射性廃棄物を持ち込まないことなどを明記した原子力研究開発機構と北海道、幌延町による3者協定に反しないことを確認した、②延長期間を9年間と確認した、③最終処分場としないことや終了後の埋め戻しを計画案に書き加えた」とを理由に、9年間の延長を求める判断をしました。

### 無責任と批判の声

議会でのやり取りでは、「9年後に再延長の申し出があるのではないか」との問いに対し、「再延長は認めない」と口頭で答弁したものの、その時の知事が誰なのかもわからず、空手形の発言に『無責任』との声が出ています。

### 住民の声は無視

今回も地方の声が無視されました。カジノについても各地域から強い反対の声

11010年

## 夢を信じる



があったにもかかわらず、知事の判断基準は環境調査などで、期日までに間に合わないのを誘致を断念するというものです。また、幌延問題については、道民の声のほとんどが延長反対であったものの、9年間の延長を認めたのです。

### 自然と食を活かして

北海道の最大の魅力は、雄大で四季折々な自然と美味しい食です。この自然と食を活かした観光政策や地域の活性化をめざすことが何より求められます。

北海道にカジノはいりません。そして、原子力発電所から出る「ミミ」の研究や処分地はふさわしくありません。北海道だからできるおもてなしはきつとあるはずで、す。そのおもてなしを信じて頑張る決意です。

北海道議会議員 北口雄幸

# 第4回定例道議会報告(11月26日~12月12日)

## 64億7千万円を補正

知事が提案した補正予算案は、一般会計と特別会計を合計し、64億7700万円をとなりました。

補正予算の主なものとしては、災害復旧事業として、昨年の胆振東部地震、今年の台風8号及び10号などで被害を受けた施設の復旧工事費などで14億6900万円を計上。さらに今年の台風19号で大きな被害を受

けた宮城県丸森町への応援経費として、道職員の派遣やコンテナ型トイレの設置などに3800万円。また、地方競馬特別会計補正予算案も提出され、門別競馬場の施設等整備及び情報システムの改修費など1億5800万円が計上されました。

## カジノ見送り、が…

カジノを含むIRについて知事は、来年7月までの国への認定申請を断念する



環境生活委員会において東京オリンピックのマラソン・競歩競技の運営や合宿誘致などを質問。(11月6日)

第4回定例会で可決された補正予算

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
当初予算額	2,870,964,261	1,145,925,100	4,016,889,361
今回補正額	6,169,381	308,254	6,477,635
合計	2,877,133,642	1,146,233,354	4,023,366,996

方針を表明する一方で、引き続き誘致を検討する考えを示しました。私たちは、道民の意向把握が十分でなく懸念される様々な課題への対策が不明瞭なことから、誘致の是非すら判断できる状況にはないと強調しました。

## 影響大きい日米協定

日米貿易交渉について、安倍首相は「両国に利益をもたらすウィンウィン」の

合意と評価していますが、本道にとってはルースウィン(相手の勝ち)でしかありません。

この結果に対し鈴木知事は、「守り」の「攻め」の施策を展開する」としていますが、需要の拡大や輸出拡大の進展、生産量の維持のための取り組み強化が必要と質しました。また、家族経営をはじめとする小規模農家への支援も求められています。

## 混乱した教育現場

大学入学共通テストについては、試験の格差解消と公平性・公正性の担保ができるまで中止を求めざるべきと訴えました。

また教職員の变形労働時間制について道教委は、改正された教職員給与特別措置法(給特法)では長時間労働は改善されず、長期にわたる長時間勤務を容認する過労死促進の制度となる危険があることを全く認識していません。教育長は、「国

会での審議動向を見極め職場環境の整備に努める」との答弁にとどまり、事態の深刻さを重く受け止めていない認識と思われました。

## 見えない鉄路維持

またJR北海道路線維持問題については、年内に道の「基本的な考え方」をまとめるとしています。素案は抽象的で、国に対し具体的に何を求めようとしているのか全く見えていません。私は、鉄路が北海道経済を支えてきたことを再認識し、鉄路の存続を求め続ける決意です。

## 採択された決議・意見書

- ◆私立専修学校等における専門的職業人材の育成機能の強化等を求める意見書
- ◆将来にわたり安全・安心な医療制度の提供を求める意見書
- ◆大学入学共通テストに関する意見書
- ◆授業料減免制度の現行水準を維持することを求める意見書
- ◆日米貿易協定に関する意見書



写真で振り返る北口道議の活動記録(10月〜12月)



さっぽろ市士別ふるさと会(10月26日)



監査委員として工事現場を調査(10月11日)



士別地区保護司会創立65周年式典(11月13日)



温根別地区敬老会であいさつ(11月8日)



沖縄県議会新里議長と意見交換(11月21日)



沖縄県の辺野古新基地予定地を視察(11月20日)



幌延深地層研究センター延長反対陳情(11月27日)



士別市立多寄中学校閉校式典(11月23日)



←名寄駐屯地年末行事での餅つき(12月16日)

→連合北海道上川地協総会であいさつ(12月7日)





# 北口ゆうこう奮闘日記

<http://y-kitaguchinet/>

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(10月～12月分)



久しぶりのパークゴルフを楽しむ

◆10月13日【創成自治会パークゴルフ交流会】▼私の住む創成自治会の親睦パークゴルフ交流会に出席。今日の参加者は、男性12名、女性6名の合計18名で18ホールを楽しんだ。今日は最高の芝コンディションでもあり、イン・アウトとも28打の56打でホールアウトすることができ、4位に入賞することができた。ホール

アウト後は、会館でのシンギスカン交流会。パークゴルフや地域の話題などで、楽しいひと時を過ごさせていただいたところだ。



木育フェスタ2019で記念植樹

◆10月19日【木育フェスタ2019】▼北海道木育フェ

◆11月2日【富良野市労連・退職者会定期総会】▼富良野市労連・退職者会(小沼清会長)の「第31回定期総会」に出席。道議会における喫煙所問題や先の定例会における憲法意見書について道政報告させていただいた。そして退職者会の役員改選では、長年会長を務められた小沼さんに代わり、佐々木雅夫さんが新会長に選出された。



富良野市労連・退職者会定期総会

行ったところだ。

◆11月3日【富良野市功労表彰式】▼令和元年度富良野市功労者・貢献者表彰式に参列し、ご挨拶させていただいた▼今年の受賞者は、自治功労として岡野孝則様

(元富良野市議会議員)、保険医療功労として渡部秀雄様(渡部医院院長)が受賞。また貢献表彰として浅田正俊様が表彰された。



富良野市功労表彰式で記念撮影

◆12月1日【北方領土返還アピール行進】▼北方領土返還要求運動は、1945年12月1日、当時の安藤石典根室町長が連合国最高司令官マッカーサー元帥に対し、北方領土の返還を求める陳情書を提出した歴史的経緯にちなみ、この日を「北方領土返還運動のはじまりの日」と位置付けている▼今日の行動にも全国各地から約500名が東京都の日比谷野外音楽堂に結集し、そこから銀座まで行進し、「北方領

土(しま)を返せ！」などと、早期返還を訴えたところだ。



北方領土の早期返還を求めアピール行進

## 【コラム】

▼安倍晋三政権は、第2次政権発足から8年目に突入り、在任期間の史上最長記録を更新し続けている▼この間、森友学園、加計学園、自衛隊日報や勤労統計データの改ざんなどの問題が勃発。最近では、桜を見る会の私物化など、税金の使い方がおかしい▼私は以前デนมマークを視察した。デนมマークの税金は高い。しかし福祉が充実し、支払った税金が自分に返ると理解しているから納得して税金を払う。そして税金(政治)への監視が強い▼昨年10月から消費税が増税された。私たちはもっと税金(政治)に強い関心を持つ必要がありそうだ。(ゆうこう)